

(様式 3)

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	笹尾敏明	所属	国際基督教大学
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会コミュニティ・アクションリサーチ研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>      会員      のべ 6名（うち認定心理士      0名）       非会員   のべ 17名（うち認定心理士   0名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等       （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>      本研究会の主目的は、様々なコミュニティが抱える問題に対し、専門領域を異にする研究者、医療事業者（医者及び看護師）、臨床心理士、学校心理学者や企業コンサルタントらが学際的アプローチから協働することで、解決策の検討および介入にむけたアクションリサーチを行うことである。</p> <p>      2015年度は、主にコミュニティ心理学領域に関わる最新の文献の精読・輪読やゲスト講師による講演会を開催したのに対し、2016年度は、それらに加え、各々の専門領域において実際に調査や介入を行うことができた者もいた。研究会では、基礎的な知識の共有、およびそのような実践的知見を交えながら、理論と実践をつなげるべく積極的な議論を展開することができた。</p> <p>      研究会の成果として、専門領域を超えた協働により、様々なコミュニティが抱える諸問題に対して、多面的な方略を検討できたことが挙げられる。本年度は、在住外国人、企業および学生アスリートコミュニティに対して、調査を計画、実施することができた。さらに、研究会のメンバーの多くが、学会等で研究成果を発表することもできた。このような生産性の向上に寄与した要因の1つとして、定期的な研究会の開催により、研究の進捗の停滞を防ぐことができたことが考えられる。</p> <p>      来年度の予定としては、医療従事者コミュニティ（看護師や患者会など）を対象とした基礎的な調査を行いたいと考えている。さらに、製造業を中心とした企業を対象に、人為的なミスを防ぐための、介入プログラムを構築中である。また、本年度のデータを分析し、介入プログラムの評価や改善を行っていくことも、来年度に向けた大きな課題である。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会コミュニティ・アクションリサーチ研究会				
研究集会開催日： 2016年5月21日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	笹尾敏明	国際基督教大学	○	
2	八田直紀	国際基督教大学大学院	○	
3	大内潤子	北海道科学大学		
4	浅田 純	WT Institute		
5	平井 健	医療法人社団康明会 康明会病院		
6	本間桃里	国際基督教大学		
7	鈴木 愛	国際基督教大学		
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会コミュニティ・アクションリサーチ研究会				
研究集会開催日： 2016年9月17日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	笹尾敏明	国際基督教大学	○	
2	八田直紀	国際基督教大学大学院	○	
3	大内潤子	北海道科学大学		
4	浅田 純	WT Institute		
5	平井 健	医療法人社団康明会 康明会病院		
6	本間桃里	国際基督教大学		
7	鈴木 愛	国際基督教大学		
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会コミュニティ・アクションリサーチ研究会				
研究集会開催日： 2017年2月18日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	笹尾敏明	国際基督教大学	○	
2	八田直紀	国際基督教大学大学院	○	
3	大内潤子	北海道科学大学		
4	浅田 純	WT Institute		
5	平井 健	医療法人社団康明会 康明会病院		
6	本間桃里	国際基督教大学		
7	鈴木 愛	国際基督教大学		
8	北風菜穂子	大東文化大学		
9	Llewellyn Nelson	国際基督教大学大学院		
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2017年 3月 31日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会コミュニティ・アクションリサーチ研究会

研究会番号 研16023

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2017, 3, 18	韓国からの講師謝礼	¥30,000

---

支出合計 ¥30,000